

# 令和6年度 第2期東北歴史博物館中長期目標達成のための個別取組

東北歴史博物館は、第2期中長期目標(前期)を達成するため下記事項を柱に据え、8つの項目ごとに活動方針を設定し取り組みます。

- 暮らしを潤す博物館(豊かな心プロジェクト)
- 学び・繋がり・地域に貢献する博物館

項目	活動方針	担当	No.	重点目標取組	前期達成目標	令和6年度 目標達成のための個別取組
1 常設展示・企画展示	(1) 何度も訪れたい常設展示を目指します。	企画	①	○	展示の更新と展示替えを計画的に行います。	【企画部企画班】 ○ 常設展示等更新ワーキンググループにおいて、短期(1~2年)・中期(5年)・長期(大規模改修時)更新について協議を重ねて計画を提案する。短期・中期更新について具体的に取り組む。
		管理	②		適宜、総合展示室等の設備の更新を行います。	【管理部管理班】 ○ 予防保全の観点から、総合展示室、古民家、その他常設のサービス施設の設備更新について費用対効果を検証し、リニューアルコンセプトと適期について整理し、年次計画の調整を図る。
	(2) 多様な世代の要望をとらえ、時宜を得た魅力的な特別展を開催します。	企画	③	◎	宮城・東北地方の歴史と文化に関わる特別展を開催します。	【企画部企画班】 ○ 前年度の実績成果に基づいて改善点を検討し、魅力的な展示の実施に取り組む。 【開催する特別展】 春季特別展 「世界遺産 大シルクロード展」 夏季特別展 「和食」 秋季特別展 「多賀城1300年」
		企画	④		魅力的な巡回展を誘致・開催し、多様な世代の来館を推進します。	【企画部企画班】 ○ 大規模共同企画展を実施し、幅広い利用者の来館を推進する。 【開催する展覧会】 春季特別展 「世界遺産 大シルクロード展」 夏季特別展 「和食」 ○ 令和7年度に向け、魅力的な大規模巡回展を誘致・企画する。
2 教育普及	(1) 参加しやすくなる多様な親しみやすい教育普及事業を目指します。	企画	⑤	○	利用者のニーズや興味関心を捉え、参加しやすくなる講座・体験教室・体験イベントを実施し、子ども歴史館や図書情報室を充実します。	【企画部企画班】 ○ 利用者アンケートなどにより、利用者のニーズや興味関心を捉えた事業を実施する。 ○ 情報分析に基づいて運営の改善点を検討し、事業の充実と効率化に取り組む。 ○ 新規の参加者獲得に向けて、幅広い層が参加しやすくなる企画を計画し、積極的に広報する。
	(2) 学校が博物館を効果的に活用できる環境を目指します。	企・管・情	⑥		ICTを活用した資料の紹介など学習支援を充実し、学校が利用しやすい環境を整備します。	【企画部企画班、管理部管理班、管理部情報サービス班】 ○ 学校で情報端末を利用した調べ学習ができるような館蔵資料の紹介など、webを利用した学習環境の整備に取り組む。 ○ 学校団体のニーズを把握し、博物館で効率的な学習を行えるプログラムの開発と見学・利用コースの提案に取り組む。
3 調査・研究	(1) 宮城・東北地方の歴史・文化等に関する調査研究を積極的に推進し、その成果を広く公開します。	学芸	⑦	◎	研究テーマや目的を明確化し、成果を積極的に公開します。	【学芸部学芸班】 ○ 年度当初、各研究分野の事業計画の精査・調整を行い、研究テーマや目的、成果公開の予定等を明確にした事業計画を館内で共有する。 ○ 調査・研究の成果は、展示や各種講座等で地域へ広く還元し、研究紀要、論文等を含めたいずれかの手段により、全ての学芸職員で平均して1人あたり2件以上を公開する。
	(2) 調査研究事業のための必要な予算の充実を目指します。	学芸	⑧		科学研究費や国庫補助金等の獲得により外部予算の導入を図ります。	【学芸部学芸班】 ○ 研究事業に有益と判断される外部事業への応募を行い、競争的外部資金の獲得を目指す。
4 資料の収集と保管・活用	(1) 宮城・東北地方の歴史・文化等に係わる資料を系統的に収集し、その積極的活用を図ります。	学芸	⑨	◎	研究分野ごとの資料収集方針に基づき、計画的な資料収集を行います。	【学芸部学芸班】 ○ 博物館資料について、美術品等取得基金を活用し収集活動を進める。 ○ 博物館資料について、所有者との連携を深め、寄贈及び寄託などの収集活動を進める。
		学芸	⑩		実物資料はもとより画像等の二次資料を含めた博物館資料等に適切に対応します。	【学芸部学芸班】 ○ 図書資料及び画像・動画資料について登録・配架作業を円滑に行い、収集活動を進める。
	(2) 収集した資料をその特質に応じて保管管理するとともにデジタルアーカイブ化を推進します。	学芸・管理	⑪		収蔵環境を整備し、より安定的な資料保全を図ります。	【学芸部学芸班・管理部管理班】 ○ 温湿度の安定化をはじめとした収蔵環境の管理方法等の精査・改善を試みる。 ○ 浮島収蔵庫の考古資料特別整理にかかる業務量の積算及び体制構築等の協議を進め、新たな収蔵施設の拡充に向けた行程案を検討する。 ○ 浮島収蔵庫屋上防水工事により収蔵環境を改善する。
5 情報の発信	(1) 情報リテラシーに十分配慮した上で、ICTを活用して速やかで効果的、魅力的な情報を発信します。	情サ	⑬	◎	幅広い世代の来館者の増加につながるよう、実行力のある効果的な広報を展開します。	【管理部情報サービス班】 ○ SNS特にX(旧Twitter)の活用を継続しこれまでに利用が少なかった、若い世代に向けて効果的に発信を行い、フォロワー数が増えるよう工夫する。 ○ 県内学校職員向けの利用案内の配布により、認知度や利用率の増加を図る。
		情サ	⑭		スマートフォンやタブレット等の情報端末の普及・進化に合わせて、最適な情報サービスを提供します。	【管理部情報サービス班】 ○ みやぎ電子申請サービスを活用した催事の受付の継続実施と、スマートフォン等の活用が苦手な方へのフォローを行いつつ、利用率の向上に務める。 ○ インフォメーションサービスに情報端末を活用するための方策を検討し、情報システム更新に向けて準備を進める。

# 令和6年度 第2期東北歴史博物館中長期目標達成のための個別取組

項目	活動方針	担当	No.	重点目標取組	前期達成目標	令和6年度 目標達成のための個別取組
5 情報の発信	(2) 地域に根ざしたコミュニケーションに努めます。	情サ	15		来館者のニーズを「距離」「関連性」「知名度」の指標で分析し、有益な情報を提供します。	【管理部情報サービス班】 ○ みやぎ電子申請サービスを活用した特別展アンケートの回答率を上げるための仕組みを検討し実行する。 ○ 一般に広く活用されている「Google検索機能」や「Googleマップ」の「マイビジネス」を利用して、来館者ニーズを「距離」「関連性」「知名度」の指標で分析を行い、当館の主要な情報を最適化し誘客に結びつけます。
		情サ	16	○	地域の魅力・催事などの把握に努め、連携を図っていきます。	【管理部情報サービス班】 ○ 多賀城市及び近隣市町における歴史・文化事業や観光事業等で、当館の展示や催事情報等を提供するなど相互協力を進め、地域の活性化が進むような連携を積極的に行う。
6 地域連携・県民参加	(1) 近隣市町や関連団体、学校等と連携・協力し、文化観光その他の活動を回り地域の活力向上に取り組みます。	情サ	17	◎	当館や多賀城政府跡を起点とする、地域の文化観光促進に向けて多賀城市や近隣市町及び関係団体との連携を強化します。	【管理部情報サービス班】 ○ 近隣市町の観光情報について、パンフレット・チラシを配架するとともに、サイネージに掲載し来館者へ提供をする。 ○ 「多賀城創建1300年記念事業」を契機として永続的に当館を含む地域への集客増に向けて多賀城市や関係機関との連携を強化する。
		企画	18		博物館ボランティア業務を円滑化し、地域の活力向上を図ります。	【企画部企画班】 ○ 安心・安全なボランティア活動の場を提供し、地域の交流の場をつくる。 ○ 今野家住宅におけるボランティア、体験イベントにおける大学生ボランティア、そのほか、特別展における関連行事など、内容・体制について社会情勢を鑑みながら柔軟に対応し、円滑な運営を行う。
		企・学・情	19		「博物館友の会」の活動に対し支援をしながら、自立した体制整備に向けて助言、提案をします。	【管理部情報サービス班・企画部企画班・学芸部学芸班】 ○ 役員を中心とした自立的な会の体制整備に向けて必要な助言や提案を行う。 ○ 役員会に対し、館の施策や催事等について積極的に情報を提供するとともに、ユーザーの意見として活用を図る。
		情サ	20		大学等学校単位のキャンパスメンバーズの拡大・利用促進を図り若い世代の獲得に努め、各種博物館活動への参加を誘引します。	【管理部情報サービス班】 ○ キャンパスメンバーズ加盟校へ、展示や催事等の開催案内を定期的に行う。また、当館への意見や要望等を聞き取り、より利用しやすいサービスのあり方を検討をする。 ○ キャンパスメンバーズの対象の特典内容を検討し、今後のサービス向上と新規勧誘を行う。
7 危機管理	(1) 来館者と貴重な資料の安全が確保・維持される環境づくりに取り組みます。	管理	21	○	施設・設備の適切な維持修繕に努めます。	【管理部管理班】 浮島収蔵庫改修工事 受電・コンデンサ更新工事
		管理	22		様々な災害に対応する適切な物資の確保に努めます。	【管理部管理班】 ○ 非常発電装置の予防保全について、計画的な整備を図る。 ○ 防災直後の生命維持や生活に最低限必要な食料・飲料水・生活必需品等の物資や資機材を対象とし、量的な補充および使用期限又は耐用年数に留意した品目の選定・備蓄に努める。
	管理	23		避難訓練等を適宜実施し、対応マニュアルをブラッシュアップします。	【管理部管理班】 ○ 施設・設備、避難経路等の安全点検 ○ 防災地図(ハザードマップ)を活用した地域の実態把握 ○ 防災訓練の実施と見直し	
	全	24	◎	災害に応じた適切な緊急点検を実施し、事業の中断を最小化します。	【管理部管理班・管理部情報サービス班・企画部企画班・学芸部学芸班】 ○ 避難訓練の実施や、あらかじめ災害対応事例を職員間で共有するなどし、緊急時の対応方法やBCP発動時の体制・要員を明確にする。	
8 変化する社会への対応	(1) 複雑化・多様化するニーズや自然災害等の新たな課題に対して、東日本大震災で得た貴重な知見を活かし、博物館職員の技術向上や県内外の博物館施設等の連携等の手段により、協働して諸課題への対応の検討を進めます。	学・企・管	25	◎	宮城県博物館等連絡協議会の会長・事務局として県内博物館との連携を深め、会員館の要望を的確に捉えながら協議会活動の充実を図ります。	【学芸部学芸班・企画部企画班・管理部管理班】 ○ アンケートの継続的な実施等により、会員館の課題及び要望を幅広く聞き取り協議会活動に反映させる。 ○ 協議会活動のメニューについて、会員館の要望を反映させたものとともに、事務局として有益と主体的に判断したのもも実施し、協議会活動の有効性を高め活性化を図る。
		学芸	26		外部研修の受講等を通じて最新の成果を積極的に吸収し教育普及、博物館運営等、博物館学的な研究を推進します。	【学芸部学芸班】 ○ リモート受講を含め外部研修に3件以上参加し、最近の博物館学研究成果を獲得する。 ○ 外部研究で得た新たな学術情報及び事例等を報告会等を通して館員全体が共有し、学芸職員としての資質向上を図る。
		学芸・情サ	27		博物館実習等による後進教育、キャリア教育等による学校教育対応を進め、博物館の存在価値を高めます。	【学芸部学芸班・管理部情報サービス班】 ○ 博物館実習や東北大学連携大学院「文化財科学」等による大学生の受入・指導を継続し、後進育成に貢献する。 ○ 総合学習のうち地域学習などの受入れ要領を精査して対応可能な範囲を見極めながら社会貢献を推進する。
		学芸	28		博物館に求められる社会的課題への理解を深めます。また、繰り返される自然災害では必要に応じ、県文化財課等と連携して専門的助言を行います。	【学芸部学芸班】 ○ 社会的包摂やユニバーサル・ミュージアムなど、博物館を取り巻く新たな課題に対して理解を深める。 ○ 繰り返される自然災害等に対応すべく、文化財課の依頼に基づき修理及び安定的保管等に関する専門的助言を行う。

※ ◎: 前期中長期重点目標

○: 令和6年度重点目標(取組)